

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年3月2日～2017年3月8日)

平成 29 年(2017 年)3 月 10 日

H E A D L I N E S

<p>政治</p> <p>装備調達官, ドローンの技術協議に15社参加と発表 V4首相会合の実施 ヴァシチコフスキ外相, ティラソン米国防長官と電話会談 防諜訓練センター, NATO本部に認可 国防副大臣, イタリア訪問 イタリア・シフェドニック社へ, 実機展示のためポーランド訪問 ポーランド南東部に演習場予定地を取得 シュチェルスキ大統領府国務次官の訪日 国防副大臣, ヨルダン訪問 国防大臣, EU国防大臣会合参加 外務省, 北朝鮮による弾道ミサイル発射に対する非難声明を发出 ノルウェー, ジョイント・ヴァイキング・17演習を開始 ロシア国防省, コラ半島で上陸訓練を行うと発表 T-72戦車がポーランド南西部ザガンへ移動 ヴァシチコフスキ外相, 外務理事会に出席 ヴァシチコフスキ外相, ガブリエル独外相と会談 トウスク欧州理事会議長の再選</p>	<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！ 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p>経済</p> <p>家具産業への支援 2月の新車登録台数も引き続き増 ポーランドはハイブリッド技術の主要なハブにトヨタ・ヨーロッパCEO 欧州委員会のデジタル経済指標 中央銀行の経済成長率見通し ポーランド企業の女性管理職の割合 特許件数が過去最高に 地熱発電の活用促進に関する関係者発言 エネルギー相: ポーランドは原子力発電所の必要性を理解</p>	
<p>大使館からのお知らせ</p> <p>長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 パスポートダウンロード申請書のご案内 大使館広報文化センター開館時間 文化行事・大使館関連行事</p>	
<p style="text-align: center;">ポーランド日本国大使館</p> <p>ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm</p>	

政 治

外交・安全保障

装備調達官、ドローンの技術協議に15社参加と発表【1日】

1日、装備調達官は、ドローンの技術協議に、ポーランドのWBエレクトロニクス社、イスラエルのエルビット社、IAI社等国内外の15の研究機関及び民間会社が参加することになったと発表した。

V4首相会合の実施【2日】

2日、シドウオ首相は、ワルシャワにて、ソボトカ・チェコ首相、フィツォ・スロバキア首相及びオルバーン・ハンガリー首相との間でV4首相会合を実施し、主に欧州の将来につき意見交換した。V4は、今次会合にて欧州の将来に関する共同声明を発表し、単一市場における4つの自由の維持及び更なる発展の重要性、EU加盟国とEU機関の関係が補完性の原則に基づくべきこと、各加盟国の議会がより重要な役割を担うべきこと、ユーロ圏の更なる深化が全ての加盟国に開かれたものであるべきこと等を強調した。

ヴァシチコフスキ外相、ティラソン米国務長官と電話会談【2日】

2日、ヴァシチコフスキ外相は、ティラソン米国務長官と電話会談を行い、大西洋関係の発展の展望、グローバルの諸課題に関する二国間協力、安全保障面における優先課題等につき意見交換した。ティラソン国務長官は、大西洋関係の継続、同盟義務の遵守、欧州及び中・東欧地域の安全保障強化への米国の関与姿勢を表明した。

防諜訓練センター、NATO本部に認可【2日】

2日、クラクフに所在する防諜訓練センターは、NATOに正式に承認された。同センターは、NATOの22ヶ国出身の職員で構成され、NATO加盟国の防諜能力、偵察能力を向上する目的で設立された。

国防副大臣、イタリア訪問【2日】

2日、コブナツキ国防副大臣は、イタリアを訪問し、ポーランドのPGZ社とイタリアのレオナルド社の協力関係を始めとする防衛協力の深化、新技術の提供等に関する意見交換を行った。また、M-346ジェット練習機の追加導入に向けた交渉も行った。

イタリア・シフェドニック社へ、実機展示のためポーランド訪問【2日】

2日、イタリアのレオナルド社に所属するシフェドニック社のAW-101多用途ヘリは、特殊部隊及び海軍に導入を予定するポーランド軍に実機展示するため、ポーランドに訪問した。

ポーランド南東部に演習場予定地を取得【4日】

4日、軍資産庁は、森林協会とポーランド南東部スタロバボラ近郊の2,300ヘクタールの森林を演習場予定地として無料で取得する契約を結んだ。

シュチエルスキ大統領府国務次官の訪日【4日～7日】

4日～7日、シュチエルスキ大統領府国務次官が訪日し、6日の滝沢外務政務官と会談では、二国間の政治・経済関係、本年の両国国交回復60周年及び2019年の国交樹立100周年等につき意見交換が行われた。7日、同次官は、国際問題研究所(JIIA)にて、「世界秩序の変わり目におけるEU・米関係」と題する講演を行った。

国防副大臣、ヨルダン訪問【5日】

5日、コブナツキ国防副大臣は、ヨルダンを訪問し、対IS作戦等の地域情勢及び二国間防衛技術協力に関し意見交換を行った。同副大臣は、ポーランドにとってヨルダンは中東におけるパートナーであり、軍事博物館交流において展示物の交換等を行っていることもその証左である旨述べた。

国防大臣、EU国防大臣会合参加【6日】

6日、マチェレヴィチ国防大臣は、ブルッセルにて開催されたEU国防大臣会合に参加し、共通防衛に向けた第一歩として30名で構成される常設の司令部を設置する決議を採択した。同司令部は、MPCCと呼ばれ、マリ、コンゴ、ソマリア等の訓練支援の調整が主な任務になる。同大臣は、ポーランドは、本司令部を支援するが、NATOの活動を阻害しないようにすべき旨述べた。

外務省、北朝鮮による弾道ミサイル発射に対する非難声明を发出【6日】

6日、外務省は、北朝鮮による2月12日及び3月6日の弾道ミサイル発射実験を非難し、同国に国連安保理決議に違反する挑発行為の自制を求める内容の声明を发出した。

ノルウェー、ジョイント・ヴァイキング・17演習を開始【6日】

6日、ノルウェー国防省は、北部のフィンマークにおいて、米国海兵隊、英国海兵隊を含む8000人が参加するジョイント・ヴァイキング・17演習を開始したと発表した。

ラブロフ・ロシア外務大臣は、ロシア国境におけるNATOの活動は、挑発行為であると批判した。

ロシア国防省、コラ半島で上陸訓練を行うと発表【7日】

7日、ロシア国防省は、バルト艦隊の上陸訓練を北極海に面するコラ半島にて行う旨を発表した。同訓練には、アレクサンドル・オトラコフスキ戦車揚陸艦、兵士400名、車両40両が参加する。

T-72戦車がポーランド南西部ザガンへ移動【7日】

7日、T-72戦車がノルウェー国防省は、北部のフィンマークにおいて、米国海兵隊、英国海兵隊を含む8000人が参加するジョイント・ヴァイキング・17演習が開始したと発表した。

ラブロフ・ロシア外務大臣は、ロシア国境におけるNATOの活動は、挑発行為であると批判した。

ヴァシチコフスキ外相、外務理事会に出席【7日】

7日、ヴァシチコフスキ外相は、ブリュッセルで開かれた外務理事会に出席し、移民・難民問題、エジプト情勢、西バルカン情勢、中東和平問題等に関する議論に参加した。

ヴァシチコフスキ外相、ガブリエル独外相と会談【8日】

8日、ヴァシチコフスキ外相は、就任後ポーランドを初訪問したガブリエル独外相と会談し、二国間関

係、EU改革、英国のEU離脱、気候変動・エネルギー政策、安全保障情勢、移民政策、ウクライナ情勢等につき意見交換した。同外相は、会談後の共同記者会見にて、ポーランドは西欧諸国から様々な統合速度のEUを求める声が出ていることを懸念している、右方向性は欧州に更なる危機及び格差拡大をもたらすものであり、良い解決方法ではない旨述べた。

トウスク欧州理事会議長の再選【9日】

9日、欧州理事会は、トウスク欧州理事会議長(任期2年半)の再選を投票(加重多数決方式)で決定した。「法と正義」(PiS)政権は、4日にPiS政務委員会が(最大野党・市民プラットフォーム(PO)出身の)トウスク議長が再任されてはならない旨の決議を採択したことを受けて、同日サリウシュ＝ヴォルスキ欧州議員を対立候補として擁立し、他のEU加盟国への支持要請を行っていた。他方、9日の投票では、ポーランドのみがトウスク議長の再任に反対し、他の27カ国は同再任を支持した。これを受けて、シドゥウオ首相は、欧州理事会の結論文書に署名せず、トウスク議長再任が無効であるとの認識を示した。カチンスキPiS党首は、EUの原則に違反した政治家が欧州理事会議長に選出された、トウスク氏は今後ポーランド国旗を身につけて活動することが許されない旨述べた。

経 済

経済政策

家具産業への支援【2日】

ポーランド開発基金(PFR)は、家具産業支援のための計画を立ち上げた。同計画は、「責任ある成長戦略(モラヴィエツキ・プラン)」の「旗艦プロジェクト」の一つであり、1,000万ズロチから5,000万ズロチの資金が提供され、輸出促進やEU基金の協調資金に充てることが想定されている。また、独や仏等の既存の民間販売網の買収も検討されている。

2月の新車登録台数も引き続き増加【3日】

自動車産業専門調査会社 Samar によると、今年2月の乗用車及び商用車の新車登録台数は43,080台であった。前年同月比12.5%の増加、前月比では2.72%の増加となっており増加傾向が続いている。同社によると、法人による登録が多い。

ポーランドはハイブリッド技術の主要なハブにトヨタ・ヨーロッパCEO【7日】

ヴァン・ジル トヨタ・ヨーロッパCEOは、ポーランドの報道機関とのインタビューにおいて、ハイブリッド部品の生産ラインの立ち上げにより、ポーランド及び英国にある拠点を通じ、欧州に広くハイブリッド技術を導入することを目指しており、ポーランドは最も重要なハブになると述べた。また、水素エネルギーの重要性に関し、1月のダボス会議において同社を含む自動車・エネルギー企業13社による水素協議会(Hydrogen Council)を立ち上げた事に触れ、地球規模で水素技術を拡大させることを目指していると述べた。

マクロ経済動向・統計

欧州委員会のデジタル経済指標【6日】

欧州委員会のデジタル経済・社会指標によれば、ポーランドはEU内で23位であり、クロアチア、イタリア、ギリシャ、ブルガリア、ルーマニアを上回って

いる。欧州委はその理由として、ビジネスや公共サービスのデジタル化の遅れを指摘している。ポーランド一般家庭へのブロードバンド普及率は86%、使用率は59%であり、EU平均の98%と74%を

大きく下回っている。

中央銀行の経済成長率見通し【8日】

中央銀行(NBP)経済研究所は、ポーランドの2017年経済成長率は、50%の確率で3.4~4.

0%との見通しを発表した。2018年は2.4~4.5%, 2019年は2.3~4.4%の見通しである。また、中央銀行金融政策委員会は、8日、政策金利を1.5%に据え置くことを決定した。

ポーランド産業動向

ポーランド企業の女性管理職の割合【7日】

マスターカード社が54か国を対象に行った女性の社会進出に関する調査によれば、ポーランド企業の3割は女性により経営されており、その割合は欧州で3番目である。他方、この調査では、ポーランドは、職場における男女平等の指標では第22位、女性の教育や資金へのアクセスについては第36位、女性管理職への支援については第18位となっている。

特許件数が過去最高に【7日】

欧州特許庁(EPO)は、2016年のポーランドに対する特許付与は対前年比19%増で、過去最高の180件と発表した。特許は、主に自動車技術部門に関するもので、企業よりも大学・研究機関に対する付与が中心であり、大学では、クラクフのヤゲロン大学が最多の12件を付与されている。

エネルギー・環境

地熱発電の活用促進に関する関係者発言【6日】

シシュコ環境大臣は、下院で開催された地熱発電に関する会議において、ポーランドの潤沢な地下資源を活用した地熱発電の開発は、モラヴィエツキ・ブランにも沿ったものであり、また、国土の約8割への熱供給をまかなう事ができると述べた。同会議に出席した経済開発省クフィエチンスキ副大臣は、現在の再生可能エネルギー比率13.7%をEU目標に従い、2020年までに15%に引き上げる必要があるが、地熱発電の導入により達成可能であると述べた。しかし、専門家は熱供給は可能であるが、発電に利用するには地下水の温度が低すぎると指摘している。

エネルギー相:ポーランドは原子力発電所の必要性を理解【6日】

トフジェフスキ・エネルギー大臣は、テレビ番組のインタビューにおいて、ポーランドはエネルギーミックスにおけるCO2排出削減を目指すために原子力発電所を近い将来建設することの必要性を理解していると述べた。現在、政府は以前の資金調達モデルが大部分政府支援に依存していたことを改め、実現可能な新たなモデルを検討している。同大臣は、(新しいモデルが)市場に沿った形になるようにしたいと語った。

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成

できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日9:00-19:00 火曜～金曜日9:00-17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584-73 00，Eメール：

info-cul@wr.mofa.go.jp，住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

文化行事・大使館関連行事

【開催中】日本の浮世絵展「女：美・カ・忘我」【2月14日（火）～5月3日（火）】

クラクフ国立博物館にて、「女性」をテーマとした浮世絵展が開催中です。浮世絵の他、着物、帯、屏風、鏡、かんざし等も展示されています。

開催場所：クラクフ国立博物館，Al. 3 Maja 1

詳細：<http://mnk.pl/wystawy/onna-piekno-sila-ekstaza>

【開催中】「江戸への旅」浮世絵展【2月25日（土）～5月7日（日）】

ワルシャワ国立博物館にて、イェジ・レスコヴィッチ氏所蔵コレクションによる浮世絵展が開催中です。

開催場所：ワルシャワ国立博物館，Aleje Jerozolimskie 3

詳細：<http://www.mnw.art.pl/>

【予定】日本語弁論大会【3月11日（土）12:30～】

在ポーランド日本国大使館広報文化センターにて、第38回日本語弁論大会が開催されます。ポーランド人日本語学習者（高校生及び大学生）による日本語のスピーチと質疑応答が披露されます。入場無料。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター，Al. Ujazdowskie 51

詳細：http://www.pl.emb-japan.go.jp/itpr_pl/benron2017.html

【予定】第13回欧州空手選手権大会「ローニンカップ」【3月11日（土）～12日（日）】

ドンブロヴァ・グルニチャにて、学生スポーツクラブ「ローニン」主催によるイベント「第13回世界伝統空手連盟・松涛館空手連盟欧州空手選手権大会 ローニンカップ」が開催されます。

開催場所：ドンブロヴァ・グルニチャ（シロンスク県），「セントラム」スポーツホール，Aleja Róż 3

詳細：<https://europaronincup.karatecup.pl/>

【予定】ザブジェ市 U17 国際ユースカップ【3月25日（土）～26日（日）】

ザブジェにて、サッカー選手権大会「U17 International Youth Cup」が開催されます。広島県の高校選抜選手によるチームが参加し、ポーランドや周辺諸国のチームと対戦します。

開催場所：ザブジェ（シロンスク県），Walka Zabrze チームのスタジアム，ul. Jaskótcza 40

詳細：<https://www.gornikzabrze.pl>

【予定】第7回国際新極真空手選手権大会「コビエジツェカップ」【4月1日（土）10時～】

コビエジツェにて、コビエジツェ文化・スポーツセンター主催によるイベント「第7回国際新極真空手選手権大会「コビエジツェカップ」」が開催されます。

開催場所：コビエジツェ（ドルヌイ・シロンスク県），スポーツホール，ul. Dębowa 20

詳細：<https://www.facebook.com/Kobierzyce-Cup-1394437520853108/>

【予定】百射会【4月1日（土）】

ミシャドウォ市にて、ポーランド弓道連盟主催による『百射会』が開催されます。

開催場所：マゾフシェ県，ミシャドウォ市，教育スポーツセンター，ul. Kwiatowa 28

詳細：<http://kyudo.pl>

<https://www.facebook.com/events/1912239162323117/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。
[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)（ご連絡は電子メールでお願いします。）